

～資格をいかして後輩の育成に励む～

名前（年齢）	ぬまた しのぶ 沼田 忍さん（81歳）
地域	北海道江別市
活動概要	日本ボールルームダンス連盟1級の資格を有し、江別ダンスマチュア協会の会長を務め、社交ダンスの指導、普及に努めている。また、日本棋院5段の資格をいかし、地域のサークルで指導、育成にあたっている。
表章の類型	地域社会の中で、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮し生き生きと生活している事例
キーワード	社交ダンス／囲碁／合唱／声楽

* 年齢は、平成25年4月1日時点

■活動のきっかけ

趣味を楽しむ人生

平成3年（60歳）に定年退職し、第2の人生を趣味活動に生きがいを感じながらエンジョイしています。

昭和60年（54歳）、現役中に奥様に誘われ、江別アマチュアダンス協会に加入し、社交ダンスの虜になり練習に励んだ結果、北海道でも数少ない（財）日本ボールルームダンス連盟1級の指導員資格を取得しました。それが、技術指導と後継者の育成に取り組むきっかけとなりました。

また、地元に囲碁サークルがなかったため、日本棋院5段（アマ8段）の資格を有する沼田さんへ囲碁教室開設の要望があり、平成12年4月に小学生も含めた囲碁教室を開設しました。そして、囲碁の指導と普及に取り組みました。

平成10年6月に音楽サークル「仲よしの歌の集い」を結成し、発表する機会を楽しみに、練習に励んでいます。さらに、現役時代から親しみあった声楽をもう一度学び直そうと、平成17年4月（74歳）から本格的に音楽学校に入校し、個人レッスンを受けております。



社交ダンスパーティーで披露する沼田さんの様子

■活動内容や現在の活動状況

学びの成果を発表

社交ダンスの指導と普及に取り組む中で、平成7年、「江別アマチュアダンス協会」（JDSF）の会長に就任しダンスの普及につとめました。またダンスパーティーでは度々デモンストレーションを披露しました。パーティーではその多くをチャリティー



囲碁指導中の沼田さんの様子

パーティーとし、市に贈呈しました。また別に地元のダンス愛好者に呼びかけてサークルを結成し毎週楽しんでおります。

囲碁教室は地元で教室を開いて15年になりますが、現在会員は40名、大基盤を用いて解説するほか、指導対局を行っており、楽しい雰囲気で会員のみなさんに喜ばれています。

平成17年から声楽を学んだ成果は、毎年11月の定期発表会に連続出演し、オペラやカンツォーネを滲刺と披露しています。元職場の吹奏楽部が廃止されることを聞き、何とか継続させようと有志に呼びかけ、平成21年に「地域ふれあいコンサート」開催し450名の来場者を魅了しました。このコンサート開催を機会に吹奏楽部は継続することができました。

また、平成23年に東日本大震災支援のため、「チャリティ地域ふれあいコンサート」を開催し、来場者600名と出演グループから寄せられた義援金65万円を江別市日赤奉仕団に託しました。

■ポイント、工夫している点

「一生努力」、「生涯勉強」をモットーに

何事にも自分の可能性を試してみようと挑戦する生き方が、社交ダンスや囲碁の資格取得に結び付いています。「一生努力」、「生涯勉強」をモットーに人ととの融和を大切にし、社交ダンスや囲碁、合唱サークルなどを結成することや、チャリティーパーティーやふれあいコンサート、囲碁大会を開催することにも労を惜しません。その結果、多くの人の賛同を結集することができ、どの催し物にも多くの参加者を集め、募金も目標以上に集まり、成功裡に終えることができます。

■その他の活動

北海道雨竜郡沼田町に関する著書を出版

平成10年、著書「沼田町と北海道の開拓」を出版しました。沼田町は、先祖が明治15年に開拓者として入植し、地域を開拓発展させた功績をたたえて明治27年に「沼田村」と命名されたことが町名の由来となっています。本著の内容は北海道新聞でも紹介されました。そして、沼田町の紹介に対する功績として、沼田町から表彰状が授与されました。この著書を編纂する過程で学んだ先祖の生き方が、残された沼田さんの人生にも大きな影響を与えたそうです。それが、現在のボランティア活動の中に生かされています。



定期発表会で独唱する沼田さんの様子